



今月の聖句 家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。

マタイによる福音書 21 章 42 節

会長/森 繁 樹
 副会長/石 倉 尚
 八木 悠 祐
 書記/金原 弘 明
 西村 融 正
 会計/瀬本 純 夫
 倉 見 直 樹

クラブ主題

先ず隗より始めよ！
 —そして、長〜い、永〜い、お付き合い—

- 国際主題: I P JOAN WILSON (カナダ) "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア主題: A P Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区主題: R D 岩本 悟 (熊本にし) 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」 "Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!"
- 京都部主題: D G 廣井 武 司 (京都プリンス) 「子どもたちの未来のために さあ始めよう、ワイズの叡智と行動で」
- メネット主題: RSD 亀 浦 尚 子 (熊本にし) 「前に向かって！」 "For the future!" 一緒に進もう仲間とともに！ 自分のペースで始めてみよう！



漠然とした危惧

Yサ・ユース委員長 左 近 宏 崇

いつもご協力頂いて有難うございます。メンバーの皆さまのお蔭で、Yカップまで10事業を大過なく？ 終えることが出来ました。

Yサ委員長。何をやるのかも、はっきり理解せずにお受けしました。大変なお役目というのは噂で何となく知っていましたが、「まあ何とかなるんだろう。失敗したら失敗したで別にエエやん」と当初も今も思っていたりしてます。性格的なものなのでお許し頂ければと思います。

さて、委員長になって「わんぱくチャレンジ」のリーダーの姿や、カレーではメネットさん、その他、ヤキソバ&おにぎり、ラーメンの食事提供などなど、印象に残っていることは沢山あります。

ですが、今回は当初から自分の中で整理出来ていない事に触れたいと思います。

事業計画作成時、偏ったメンバーを頼りに事業が行われている事が議題になり、多くの意見を頂いた上で、事業方針を『みんなで参加』と致しました。ただ方法論は霧の中でした。

昨年瀬本委員長の記事にも「前回(10年前)委員長をお受けしたときは、今期の半分位の事業でしたが、年間の延べ人数は147人で、それ程偏りはなかったと思います。」とありました。本年はYカップまで延べ109名参加のうち、参加回数が多い10名だけで延べ71回参加でした。きっと偏っていたのだらうと思います。

ただ、偏りよりも、「なんで」と「どうする」が重要だと思います。しかし、8ヶ月経っても良いアイデアは浮かびません。「なんで」は、①事業の多寡にかかわらず、そもそも年間延べ人数に上限がある？ ②景気の影響でメンバーそれぞれの経済的、時間的余裕が減退した？ ③メニューが多すぎて見ただけでお腹いっぱい？ どれもイマイチ実証的ではありません。

「どうする」は、一義的に事業には参加する。ただし、強制されるべきものではない。参加しないからといって後ろめたく思う事でもないし、思っただけでいい。仕事やプライベートを犠牲にしてまでというのとは本末転倒だとも思う。だからといって今のままで良くはない……こんな感じで思考が前に進まず、です。

取り留めもなく結論のない事を書きましたが、多分に自分の理解の浅さに起因することと痛感します。今後たまに思い出しては、考えていくのだらうと思います。

聖句の解説 昨年熊本地震で、熊本城の飯田丸が、石垣が崩れた中で四隅の一角で数個の石が残っていたために崩れずに立っていたのを覚えておられる方も多いかと思いますが。あれを見た時にこの聖書の箇所を思い出しました。

組織を支えているのは、必ずしも中心にいて華やかに見える部分でなく、普段は目立たなくても、実はしっかり支えている人がいることを思われます。

西日本区
 強調月間

4月 YMCA サービス・ ASF YMCAの愛と奉仕の活動を支援しつつ、次代を担うユースの育成に力を注ぎましょう！ 堤 弘雄 Yサ・ユース事業主任(熊本クラブ)

年間強調
 目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリティンでクラブ内外の人達に事あるごとにアピールしましょう！ 伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長(京都トゥービークラブ)

3 月 報 告	例会出席	BFポイント	ニココ	ファンド	献血	130周年募金
	在籍者数 36名	切手 1,258g	第一例会 19,000円	お祝い販売 500円	献 血 0cc	第一例会 3,889円
	広義会員 2名	切手累計 6,413g	第二例会 0円	パン販売 500円	成 分 0名	第二例会 0円
	第一例会 31名	現金累計 54,652円	累 計 244,267円	カステラ販売 16,800円	累 計 400cc	累 計 98,810円
	第二例会 26名	E F 0円		ホワイトデークッキー販売 2,000円	成分累計 1名	
メイクアップ 3名	J W F 0円		合同委員会 3,500円			東日本大震災復興募金
出席率 94.4%	EF・JWF累計 0円		累 計 742,697円			第一例会 3,459円
						第二例会 0円
						累 計 35,975円

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

3月第一例会

2017年3月7日(火) 18:30~21:00
ウェスティン都ホテル京都

プロ野球でのスカウト活動の重要性

副会長 八木 悠 祐



講師の永野吉成さん

今日の例会はプロ野球千葉ロッテのチーフスカウト永野吉成さまにご講演をいただきました。私は大のプロ野球ファンで、講演を大変興味深く聞かせていただきました。

永野さんはやはり元プロ野球選手ということでがっちりとした風貌で、こんがり日焼けされていました。それでいて、ソフトで熱心にお話をされますので、ものすごく頼りがいのある方だなあと初対

面ながら感じました。

講演のなかで、スカウト活動はよい選手を見抜く目が重要であるのはもちろんのこと、入団にこぎつけるためには、選手の周りの方々との信頼関係を築くことが大切であるとお話いただきました。プロ野球という華やかな表舞台の裏で、地道に信頼関係を築きながら、選手を親のように見守るスカウトの重要性をあらためて感じさせられました。

今年もまたプロ野球が開幕しますが、1人の選手はスカウトさんや裏方さん、入団前にお世話になった方々のたくさんの期待を背負って野球をしていると思うと、これまで以上にプロ野球の面白さを実感しました。

私は阪神ファンですが、今年はロッテも応援したいと思いません。

ご卒業をお祝いいたしました

副会長 石 倉 尚

3月12日(日)14時より、京都YMCA マナホールにて2016年度京都YMCA卒業リーダー祝会が催されました。今年はアウトドアクラブ10名、キャンプ2名、わんぱくチャレンジクラブ2名、計14名の卒業です。



ご卒業おめでとうございます

3月第二例会

2017年3月28日(火) 19:00~21:00
パルティール京都

CATT 合同例会に参加して

広報ブリテン委員長 亀 井 久 照

今年はいブルクラブのホストで宇治のパルティール京都に112名が集い、盛大に行われました。

親子、兄弟クラブのキャピタル、エイブル、トップス、東稜のイニシャルでCATTとなります。

「キャット」、「キャットット」、「キャッツ」と様々に発音されていますが、どれが正しいのでしょうか。誰かご存じでしょうか。

各会長が揃っての開会点鐘の後、フランシスコ会修道司祭吉成元宏様の平和の祈りを受けました。

そして、次期京都部部長を輩出されるZEROクラブの京都部部会アピール、トゥービークラブの20周年記念例会のアピールがありました。どちらも大きなサプライズ企画を計画されているようで、とても楽しみです。

しかし、いずれ我がキャピタルも次々期に迎える35周年の



4クラブ会長による開会点鐘

アピールに壇上に上がらなければいけないと思うと、他人事ではないと思いました。

田中升啓次期会長、吉井次々期会長宜しく願いいたします。35周年が近づいた事を実感した合同例会でした。

第一部・礼拝では、兼松豊牧師による奨励です。卒業し巣立っていく若者への贈る言葉だと思うのですが、いつも自分の心が洗われるように感じます。

第二部・式典では、恒例の在京ワイズからの卒業文集の贈呈ですが、今年は卒業生が少なくワイズの方が多かったのが寂しく思いました。

卒業生のスピーチはギター&歌あり、笑いあり、涙あり、卒業までのそれぞれの思いが心の中に入ってきます。このスピーチを聴きに行くことがこの卒業リーダー祝会に出席する大きな意味を持っているのだと思います。

4年前、山口会長期に幡南Yサ委員長がリーダー祝会を持ち出し例会にされました。今期も在京ワイズの会長を除けば、例年ほぼ出席者の顔ぶれは変わらずでした。年に一度のチャンスです。若者の思いのたけに耳を傾け心を洗いに行きましょう！ご卒業おめでとうございます！

PS. 初めて参列された亀井さんの心も洗われたようです。

列席者 森会長、左近Yサ事業委員長、岡本、香山・メネット、亀井、石倉 7名

The Y cup

第4回京都ミニバスケットボール大会開催!!

Yサ・ユース委員 香山 章 治

3月18日(土)、19日(日)横大路運動公園体育館にて、The Ycup 第4回京都ミニバスケットボール大会が行われました。今回キャピタルクラブは19日(日)に13名集まり、118食のラーメンを子供たちに提供させていただきました。

試合の勝敗はともかく、子供たちの元気な笑顔と食後の各チーム一列に並んで、ワイズメンバーにお礼を述べている姿がとても印象的でした。

天気も良く、春らしい楽しい一日でした。



大会実行委員長 前 登さんからお礼状を頂きました。

謹啓 平素より京都YMCAの諸活動にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

先日はThe Y cup 第4回京都ミニバスケットボール大会にあたり、貴クラブには、昼食の提供を始め多くのご支援を賜り御礼申し上げます。

おかげさまで2日間とも天候にも恵まれ、今回もワイズメンズの皆さんにご提供いただいた昼食を参加チームの子どもたちが屋外で食べている風景を見ることができました。

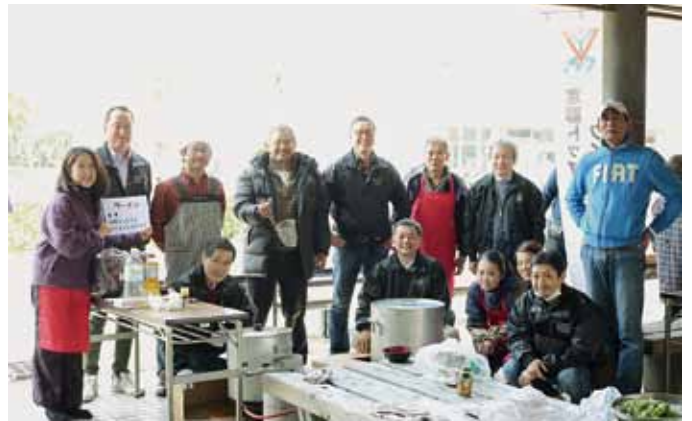
ただ18日にご協力いただいた中で、事前の食数の連絡がきちんと届いていなかったため、ご用意いただいた食数とチケット数が合わなくなり、一部のクラブにご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。

昼食提供については、閉会式での京都ミニバスケットボール連盟の中島会長からの講評の中でも、「このような昼食を出していただくような大会は本当にありません」という事で感謝が述べられていました。

また、多くのワイズメンの皆さんに協賛広告のご協力もいただきました。ご支援いただいた皆様には改めて個別に感謝とご報告をさせていただきますが、クラブより協力呼びかけていただきましたこと御礼申し上げます。

今年の大会もお蔭をもちまして無事終わることができました。各クラブのご協力に対し厚く御礼申し上げます。

The Y cup 京都ミニバスケットボール大会実行委員会
実行委員長 前 登



参加者 五十嵐、石倉・メネット・コメット、亀井、香山、左近、志田、菅原、幡南、森(繁)、森(常)、山口(雅)
13名

次期会長研修会に行ってきました

次期会長 田中 升 啓

3月18日、19日の2日間、新大阪コロナホテルにて次期会長研修会に参加してきました。

最初自宅に研修用のワークブックが届き、中のスケジュールを見て、あまりの過密スケジュールに、行くのがすごく憂鬱になりました……。一日のほとんどを椅子に座って話を聞くことなんて僕自身

久しぶりです。

そんな気持ちの状態で当日参加したのですが、講師の方々のお話は興味深く、「そんな考え方もあるのか」と、とても参考になりました。

また他クラブの次期会長の皆さんとも懇親会でいろいろな話もでき、自分以外の次期会長の皆さんも同じように悩んだり、考えたりされているのだと分かり少し安心しました。

次期会長研修会も何とか無事に終わりましたので、ここから先はいよいよ次期の準備も本格的になっていきます。そんな事もあってか、最近やたらと日が進むのが早く感じてなんだか焦る気持ちもありますが、ゆっくり確実に進めていければと思いますので、メンバーの皆様のご協力よろしくお願いたします。

京都 YMCA 総主事就退任式に出席して

ドライバー委員 大山 孜 郎

2017年3月20日(月・祝)、ウイングス京都イベントホールで行われた京都YMCA 総主事就退任式が行われたので出席した。

京都YMCA 神崎清一総主事が、3月31日付で総主事を退任し、後任として加藤俊明主事が総主事に就任したのである。

神崎総主事は2003年3月に就任し、同時に我が京都キャピタルワイズメンズクラブに連絡主事として入会した。それまでのキャピタルクラブ連絡主事は酒井善弘京都YMCA 第10代総主事であったが、神崎氏が総主事を引き継ぎ、直ちにキャピタルクラブの連絡主事となったのである。そして、今日まで実に丸14年の長きに亘り京都YMCA 総主事を務め、その間クラブの連絡主事として務めたのである。

今日まで神崎氏は、総主事として海外を始め日本全国を忙しく飛び回って居られたが、ワイズ活動も大切に、我々の例会に出席したときは、必ず食前感謝の祈りを担当し、キャピタルクラブ主催のCS活動にも時間の許す限り積極的に参加しキャピタルクラブの仲間として多くの時間を共に過ごされた。クラブとしてお別れすることはとても寂しいことであるが、4月より日本YMCA 同盟総主事として就任されるとのこと、今後日本全体のYMCA のかじ取りとして大きな働きをなされることを期待する。

ウイングス京都で行われた就退任式には、200人以上のYMCA に連なる人々が会場を一杯に集ってこられた。遠くは海外YMCA から、そして日本全国から多くのYMCA 総主事が参加して来られた。京都YMCA の会員や関係者も大勢参加しておられた。



第1部は礼拝である。日本基督教団兼松豊牧師の司式の下、前奏、招詞、讚美歌斉唱、聖書朗読、日本基督教団世光教会新井純牧師の奨励・祈祷と続き、日本基督教団京都丸太町教会大賀幸一牧師による聖書引継、京都YMCA 亀井剛理事長による任職の辞が行われ、日本YMCA 同盟正野隆士会長による祝辞が述べられ、YMCA の歌を全員で歌った後、司式者による祝祷、後奏と続き終了した。京都YMCA の総主事就退任式が先ず厳粛な礼拝で始められたことは、総主事の就任が神様の使命を基本として執り行われていることを示しており、感動的であった。

引き続き第2部が行われた。開会挨拶は学校法人京都YMCA 学園野村武夫理事長が行い、神崎清一第11代総主事による退任挨拶があり、次いで加藤俊明第12代総主事による就任挨拶があった。連絡主事として我々のクラブに入会される加藤総主事は、その挨拶の中で総主事就任は神様が与えられた使命であると思ひ決断したと述べられたのがとても印象的であり、素晴らしい挨拶であった。その後日本YMCA 同盟島田茂総主事より来賓を代表して祝辞が述べられ、最後に佐々浪元彦京都YMCA 前理事長が閉会の辞を述べられた。

その後、会場を京都YMCA 三条本館に移して「感謝と励ましの会／茶話会」が行われた。先ずオープンイベントとして書道パフォーマンスが行われ、作品を背景に記念写真が参加者全員を対象に撮影された。そして司会者によって開会の辞が述べられ、加藤新総主事が挨拶をされた後、多くの参加者が様々なスタイルでスピーチを述べられ、その後神崎前総主事に多くの花束を贈呈され、神崎さんが挨拶を行った。そして、いよいよフィナーレが近づき、ギター伴奏の元、全員で「愛すること、仕えること」を大合唱した。最後に今回の式典のPT長である京都YMCA 石若義雄理事長が謝辞と閉会の辞を述べ、長時間に

亘る総主事就退任式も漸く終了した。

私事ではあるが、私は1983年にワイズに入会して34年、その間高谷泰市氏、酒井善弘氏そして神崎清一氏と3名の京都YMCA 総主事が居られたが、総主事就退任式に列席したのは今回が初めてであった。とても貴重な体験であった。

京都YMCA での2ショット



退任される神崎総主事とYMCA 加藤新総主事ご夫妻
卒業生の書家の高岡亜衣さん(左)



感謝と励ましの会に参加したメンバーで記念写真

出席者 五十嵐、石倉、大山夫妻、岡本夫妻、勝山、金原、亀井、菅原、瀬本、田中(升)、西川、森(常)、森(繁)、柳、山口(弘)、山田(隆)、山田(英)、吉井

神崎総主事壮行会によせて

EMC 委員長 山田 英 樹

『総主事がキャピタルクラブを担当することの意味、これをよく考えなあかんで……』鬼籍に入った初代会長の口癖でした。当時はその意味があまりよく分かりませんでした。今はおおむね理解できるようになりました。本日はそんなお話です……

2017年3月22日、「馳走いなせや」で14年間もの長い間キャピタルクラブを担当していただいた神崎清一総主事が、日本YMCA 同盟の総主事に就任されるにあたりキャピタルクラブだけの壮行会が、にぎやかに開催されました。

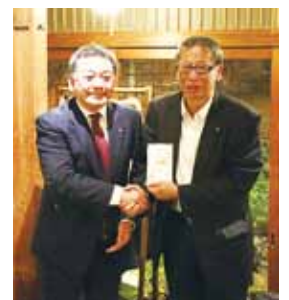
森会長の司会で、楽しくもどこか切なさの漂う壮行会が開会です。

田中升啓次期会長の乾杯に続き、石村さん・山口弘子さん・大山孜郎さん・五十嵐さんの温かいスピーチ

が思い出たつぷりに語られました。特に五十嵐さんのお話では、禁句にせねばならない真のスポンサーにも言及され、人と人の縁がなにより一番大切にすべきものであると、EMC 委員長として深く考えさせられるお話をいただきました。

そんな素敵な会が進む中、実は私はキャピタルクラブのひとり占めについて思いを巡らせていました。

私はキャピタルクラブの一員であると同時に京都YMCA の運営にもかかわるお仕事を拝命しています。現在のキャピタルクラブでは石倉尚さんに続き二人目となります。このお仕事は京都YMCA の会員としていずれかの委員会に所属し活動したのち、理事会の承認を経て任命されるものなのですが、組織改



神崎さんにお餞別贈呈

編が行われる以前は常議員と呼ばれ、キャピタルクラブでは元日本区理事である岡本尚男さん、初代会長である故堀一行さんが、そしてその後石倉さんが務めておられました。

私ごときに務まるお話でないのは重々承知しながらも、日頃のワイズの活動のなかでは知りえないYMCAの裏側、それも大抵は切なくて苦しいお話を見聞きする中で『何とかせねばいかん!』と奮闘しているというわけです。

日頃ワイズメンとしては、神崎総主事のスピーチだとか食前感謝だとか、社交性豊かな部分にしか触れる事はありませんが、実は京都YMCAに於いての神崎総主事の実務者としての存在感は並大抵のものではないのです。神崎さんなくして京都YMCAの苦境は乗り切れなかったと心から確信しています。それも決して声を荒げることなく、多くの我儘な人たちへ根回しに継ぐ根回し。最後にはその人が『神崎君、〇〇したらどうや!』とまるで自分が言いだしっぺのように語るシーンを幾度となく見てきました。その眺めはそのまんま、掌の上でお猿さんを遊ばすお釈迦様そのもの。

私が考える神崎さん像は、誰より仕事が出来て、誰よりスピーチがうまく、誰よりも優しい人であると思っています。

私は日ごろからキャピタルクラブの一番良い点は『バランスに優れている事』だと考えています。メンバーの年代構成もしかり、YMCAサービスと地域奉仕のバランスも、凛とした例会とハチャメチャな外での宴会も勿論です。そんな数あるバランスの中一番特筆すべきは、クラブとYMCAとの間の絶妙とも言える距離感(バランス)なのではないでしょうか?

日本区理事や初代会長をはじめとした先達たちの活動により存在感が際立ち、YMCAが頼りにして相談したくなる人々がそこにいるクラブとして成長し、でもクラブとしての体系は守り抜く。そんなキャピタルクラブへ敬意を表していただいている最大限の敬意が神崎総主事とご一緒した14年間であったのだと考えています。

総主事は4月から日本YMCA同盟総主事として活躍されます。今度は日本全体のYMCAの意識改革、組織改革が主なお

仕事となります。

やはり神様は出来る人を放っておいてくれないので、まだまだ定年なんぞと甘えることは許していただけない様です。私自身も、きっとキャピタルメンバーもお声が掛ければ『いざ!』と駆けつける覚悟を決めていると思います。是非お体に気を付けてお仕事を全うしていただきたいと心より祈念いたしております。

そしてキャピタルクラブメンバーとしてすべきことは、寂しさに打ち勝って、さらに京都YMCAを盛り立てていくことがなにより重要です。神崎さんには加藤さんがずっと寄り添ってサポートされていました。でも加藤さんには……そう、キャピタルクラブが付いています。内外にそう評価してもらえよう頑張らねばなりません。

それこそが総主事が担当して下さることの意味であり、14年間への恩返しなのだと思います。いつまでもバランスに優れた頼られるクラブである事を願って……。

神崎総主事、長い間本当にありがとうございました! 今後ともよろしく願っています!



出席者 石倉、石村、大山(謙)、香山、菅原、瀬本、大門、森(常)、森(繁)、八木、山口(雅)、山口(弘)、山田(英)、山田(隆)、吉井、金原、左近、田中(升)、西川、五十嵐姉妹、亀井、幡南、倉見、椿森

こんないいことしてました

保護司というボランティア

岡本尚男

近年、刑務所も受刑者の高齢化が進み刑期の厳罰化と裁判員裁判の制度が施行されたことと相まって、収容人数が多くなっています。1年余りの刑を残して仮出所する人もいますが、その間に再犯をして収監され残りの刑期と新しい判決の刑期が加算され、刑務所も大変です。一方、出来るだけ早い時期に社会に戻し自立できるような制度も施行されています。その橋渡し役なども保護司に期待されています。また、前歴を知った上でその様な人を雇用する雇用主制度もあります。

保護司というのは法務大臣の任命による無給の非常勤の国家公務員で、2年任期で見直されます。任期中に交通違反を犯しただけでも、即退任で5年間は任命されません。罪を犯した人と向き合い悩みを傾聴しアドバイスをして立ち直りの手助けをする側の保護司には、当然、様々な法令の順守が求められているのです。75歳が定年です。

私は1998年11月から2016年1月までの18年間に、^{*1}保護観察19件、^{*2}生活環境調整24件を担当しました。満75歳になる前年の11月に再任の辞令が出ましたので、実質的には77歳の11月までの任期を全うしました。この

間の保護司体験では43人の対象者やその家族に出会いそれなりの苦労もありましたが、色々な人生模様を見ることが出来ました。対象になる人を受け持つと場合によっては年中無休で24時間勤務のような状態になることもあります。また、月に1回以上の面接と、その報告書を保護観察所に提出する義務もあります。年に数回の研修もあります。

全国で52,500人の定員に対して今年の1月現在47,909人91%の充足率です。保護司のなり手不足が顕在化しています。夫々の地域の人口を基準に保護司の数が決められています。その数の保護司は地域によって異なりますが、全体に不足がちだということです。

皆さんにはお住いの地域での保護司に名乗りを上げて貰いたいし、雇用主制度を活用して一人でも仕事の機会を与えて下されば有難いです。25年以上保護司を続けられた方には国家褒章が授与されています。京都では京都保護観察所が全ての保護観察に関する業務を取り仕切っています。これらのことに関してのご相談があれば私が微力ながらご協力いたします。

※1 保護観察対象者の改善更生を図ることを目的として、指導監督と補導援護を行うこと。

※2 仮出所した人の社会復帰を図り、その保護観察を円滑にすること。

京都部国際交流懇談会に参加して

ファンド委員長 長谷川 幸 昌

3月24日に京都部国際交流懇談会／親睦会がハトヤ瑞鳳閣で開催され、吉井交流委員長と共に出席いたしました。上澤交流主査の司会進行のもと、冒頭に廣井京都部部長、続いて森田西日本区交流主任からの挨拶がありました。特に森田主任からは3年振りに西日本区からBF代表が輩出されたとの嬉しい報告がありました。

挨拶の後、参加クラブから今年度のIBC・DBCの交流状況と課題の発表がありました。14クラブが集まったので、都合上、短い時間での発表でした。その中で印象に残ったのはIBC交流の難しさ。言葉の壁だけでなく、文化や風習の違いに戸惑うとの声が多く聞かれました。同時に得られる知識や経験は貴重で、これこそがIBC交流の楽しみであり、ワイズメンズクラブが世界的な組織であることを実感できるとの意見が多かったように思われます。

続く懇親会では会食をしながら和んだ雰囲気の中で、発表の中では聞けなかった他クラブの様子を知ることができました。IBC・DBCも大切ですが、ご近所付き合いも有意義なものだと思いました。

YMCA NEWS

夜桜フェスタ

架橋改修工事の完成式典も行います。

日 時 4月16日(日) 16時～19時
会 場 京都YMCA リトリートセンター
宇治市二尾宇川18
参加費 大人(中学生以上) 2,000円/名
小学生 1,000円/名
幼 児 無料

お問合せ・お申込み 京都YMCA
TEL (075)231-4388 FAX (075)251-0970

京都プリンスクラブ設立30周年例会

日 時 4月19日(水) 午後7時より
場 所 グランドプリンスホテル京都
登 録 費 5,000円
ご出席いただける方は、4月16日(日)までに、プリンスクラブ書記 宇高史昭さんまでご連絡ください。

HAPPY BIRTHDAY

メ ン	石村 吉宏	4月6日	森 常夫	4月25日
メ ネット	幡南 陽子	4月9日	田中佳津子	4月11日
	山田まゆみ	4月17日	藤田 裕美	4月18日
コメット	山口 太樹	4月10日	田中 彩音	4月30日

HAPPY ANNIVERSARY

内廣 健・嘉 子 ご夫妻 4月14日

第9回 役員会議事録

2017年3月21日(火) 19:00～20:30
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉 長浜ワイズメンズクラブ30周年記念例会 4月1日／彦根シャトークラブ35周年記念例会 4月15日

〈YMCA報告〉 京都ユニバーサルコンサート3名参加／京都YMCA 総主事就任式19名参加／京都YMCA 総主事感謝と励ましの会・茶話会15名参加／第4回 The Ycup ミニバスケットボール大会13名参加

〈三役会報告〉 次期役員トレーニング 4月14日／神崎さん送別会 3月22日 於：馳走いなせや 会費6,000円

〈各事業委員会報告〉

- ・YMCAサービス・ユース事業委員会 開催事業報告／今後の予定報告／130周年募金と東日本大震災救援、復興募金の金額報告
- ・地域奉仕・環境事業委員会 開催事業報告／今後の予定報告／各種献金募金について
- ・ドライバー事業委員会 2月第2例会、3月第1例会報告／今後の予定
- ・交流事業委員会 国際・交流懇談会 3月24日の案内／記念例会参加予定者報告
- ・ファンド事業委員会 前月役員会以降のファンド実施報告／BF切手・献金報告／今後のファンドの予定報告
- ・広報・ブリテン事業委員会 4月号、5月号、6月号の骨子について／次期ブリテン委員長(宮崎順巳さん)との引継ぎを4月にする
- ・EMC事業委員会 例会出席者の確認／EMCBBQに関して／EMCアワー内容

〈審議事項〉

- ・神崎さん お餞別30,000円 承認
- ・感謝と壮行の会に於ける神崎さんの会費6,000円をクラブ負担とする件 承認

〈その他〉

第10回三役会 4月20日(木) 19:00～ 於：わこん
第10回役員会 4月25日(火) 19:00～
於：ウェスティン都ホテル京都
第11回三役会 5月18日(木) 19:00～ 於：わこん
第11回役員会 5月23日(火) 19:00～
於：ウェスティン都ホテル京都

編集後記

いよいよ春がやってきました。
神崎さんは日本YMCA 同盟総主事として、東京で新生活をスタートされている事でしょう。

2月に行われた東西交流会ではワイズメンズクラブの奉仕活動とYMCAのニーズがマッチしていないという事を耳にしました。長年京都で活躍された神崎さんが総主事であれば、 mismatchも解消されていくと思います。近いうちに是非、東山荘で再会したいと思います。

みんな応援していますので、頑張ってください。京都にお戻り際には、是非、例会にご参加ください。

広報・ブリテン委員長 亀井久照

